

グループワーク

地域の課題を踏まえた在宅医療・介護連携

在宅医療・介護連携推進のための地域資源整理表

平成27年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業「地域の実情に応じた在宅医療・介護連携を推進するための多職種連携プログラムによる調査研究事業」（株式会社 富士通総研）にて開発 →一部改変

	1.在宅医療	2.入院医療	3.在宅介護	4.基礎自治体	5.地域連携	6.地域コミュニティ	7.利用者意識
① 量的充足 ニーズに対する資源・提供サービス等の量							
② 質的充足 提供されているサービスの質等の確保							
③ 取組の有無							
1) 必要と考えられる取組が行われているか							
④ 利用状況							
利用されているか							
⑤ 人材 担う人材の育成や実施に際しての意識啓発はされているか							
⑥ 環境の醸成 利用に際しての意識醸成・取組の環境づくりはされているか							
強み							
2) 弱み							

地域包括ケアに関わる7領域
 1. 在宅医療 2. 入院医療 3. 在宅介護 4. 基礎自治体 5. 地域連携
 6. 地域コミュニティ 7. 利用者意識



視点
 ①量的充足 ②質的充足 ③取組みの有無 ④利用状況 ⑤人材
 ⑥環境醸成



自治体の強み・弱みを整理



・行政担当者間で地域包括ケアシステム構築上での課題やあるべき姿を検討し、認識の整理と統一を図る
 ・医療・介護関係者らに自治体としての認識を提示・説明し、意識の統一、連携のための関係を醸成

3) 7領域の現状と「強み」「弱み」統括し、市・町・村全体としての「強み」「弱み」を簡単にまとめてください。

()市・町・村の強み

()市・町・村の弱み

グループワーク

地域の現状・課題把握と在宅医療・介護連携の目標

1. グループ内プレゼンテーション

- 事前課題を通じて分かった地域の実情・課題・強みなど

2. 意見交換

1) プレゼンを聞いた感想や疑問点

- ・ここはもう少し詳しく聞いてみたい。
- ・ここはわたしの地域も困っている。
- ・ここがあなたの地域のウリでは？
- ・この地域の課題、強み・弱みは、庁内や地域従事者と共有できているか？ など

2) 在宅医療・介護連携の目標と評価（指標）

3. 発表